

# わたしたち吹田市民の生活をふりかえる

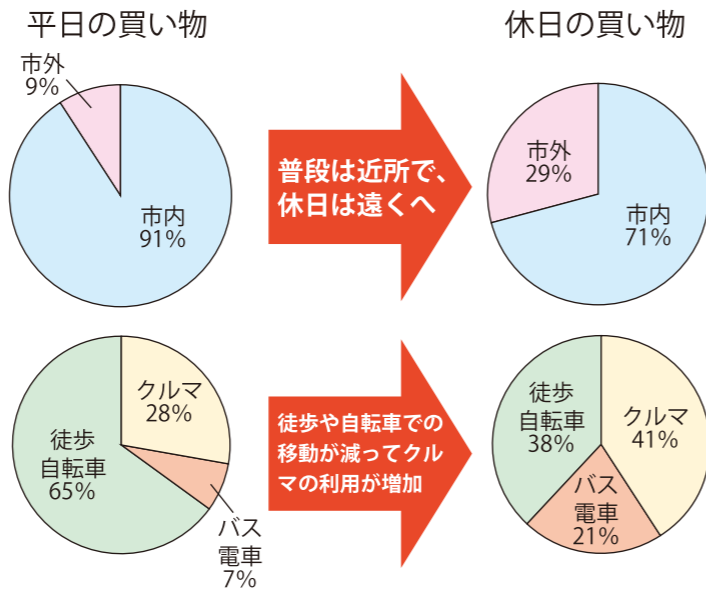
吹田市環境モニターの方々（約100名）にご協力いただいた調査結果を参考に日常生活をふりかえり、今後の低炭素生活に向けた行動の参考にしてください。

## 平日と休日の移動手段は？

平日と休日の移動手段で、最も大きな違いがあったのが「買い物」でした。普段は近所で買い物していても、休日は遠出される方が増える傾向にあります。

荷物も多いし、クルマで行くと便利ですね。ただもう一度、電車やバスで行くことができないか？地産地消や地域貢献の考え方で地元のお店で事足りないか？再確認してみてください。

小さい子供やお年寄りがいてどうしてもクルマ利用がやめられない方は、環境にもやさしく安全なエコ・ドライブをお願いします。



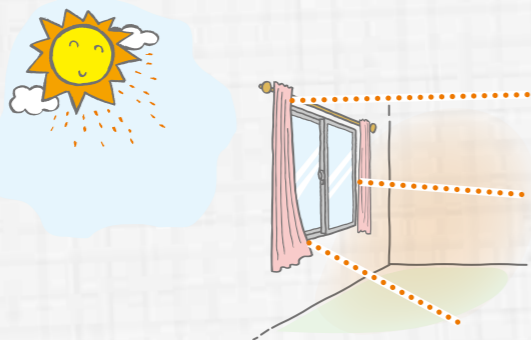
## ちょっとした工夫で、寒い冬を乗り切ろう！！

冬は、一年の中で最もエネルギーを消費する季節です。環境モニターの方が実践している冬の省エネ対策の一部を紹介します。

靴下をはいて寝る。日中も靴下は二枚はく。毛糸のセーターを着てベストも着用。部屋が暖まったら石油ファンのスイッチを切る。まめに。

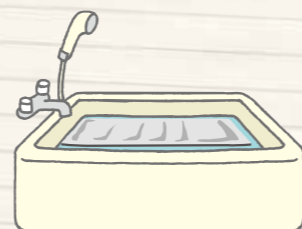


南側の部屋全体に太陽光が入るため、全ての部屋のカーテンを開け、午前中は暖房を切り、光を十分入れて過ごしています。



エアコンはお金がかかるので買わない。コタツとホットカーペットで十分。

お風呂で夫が帰宅するまでお湯の上に保温シートを置いてみたら、効果抜群でした。



## うちのエネルギー使用量は多い？少ない？

世帯人数ごとの電気・ガス・水道の毎月の使用量を算出しました。一度ご家庭の検針票をみていただき、エネルギー使用量をふりかえてみてください。

世帯人数	電気 (kWh)	ガス (m <sup>3</sup> )	水道 (m <sup>3</sup> )
1人	190	17	8
2人	336	27	16
3人	388	41	21
4人	466	43	25
5人以上	485	35	25

(水道は2ヶ月毎の使用量が検針票に記載されているので注意してください)

## ～ライフスタイル別低炭素生活のすすめ～

# 吹田市民のための低炭素生活指針

温暖化の原因と言われている温室効果ガスの一つ二酸化炭素。我慢したり、不便な生活をするのではなく、普段のちょっとした心掛けやアイデアで、二酸化炭素排出量の少ない環境にやさしく、持続可能で豊かな低炭素生活をしてみませんか？



## 使い方

生活スタイル、家族構成、環境に対する考え方は多種多様。地球にやさしい低炭素生活をしたいと思っても、具体的にどんなことをしたら良いのかわからない人も多いはず。この指針では、吹田市で実施した各種調査結果をもとに、ライフスタイル別に取り組みやすい行動を示しています。一度自分たちの生活を振り返って、あなたの低炭素生活の参考にしてください。

## ガイドラインも参考にしてください

市民のみなさんが環境負荷の低減を図るために、日常生活で取るべき行動や取組の具体的項目を示した「吹田市環境まちづくりガイドライン(ライフスタイル版)」、大学生の大学生活に伴う環境負荷の低減を図るための実践例を示した「吹田市環境まちづくりガイドライン(キャンパスライフ版)」を作成しました。幅広く、具体的な行動が示されています。

## 指針の位置づけ

本市では、市域から排出される温室効果ガス量を、1990年度を基準に2020年度までに25%以上削減するという中期目標を掲げ、市民・事業者・行政が連携して取り組んでいくことをめざした「吹田市地球温暖化対策新実行計画(2011年3月)」を策定しました。この計画をもとに、具体的に私たち吹田市民が何をしたら良いのかをこの指針に整理しました。

### (ガイドラインの入手方法)

- 吹田市役所地球環境課(市役所本庁舎高層棟2階)で配布しています。
- 地球環境課のホームページでご覧いただけます。  
<http://www.city.suita.osaka.jp/home/soshiki/div-kankyuu/chikyu.html>



単身世帯 一人当たりのエネルギー消費量が一番多い。

▶コンセントをこまめに抜くかスイッチ付タップを使って待機電力を減らす。(特にパソコンの待機電力には注意。)



★★★ 実施率 69% 単身世帯は 52%

▶テレビをつけっぱなしにしない。

★★★ 実施率 53% 単身世帯は 47%

単身世帯の取組みの実施状況が少ない行動です。



2人以上 家族みんなで取り組むことで効果を発揮。

▶家族は続けて入浴する。



★★★ 実施率 48%

▶人のいない部屋は消灯する。



★★★ 実施率 84%

家族みんなで協力して取り組みましょう。



クルマの利用を控えることは難しい

マイカーを保有している世帯のうち、「自動車利用を公共交通に換えることは一切できない」と回答したのは65%でした。

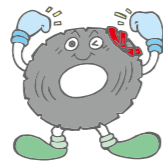
▶アイドリングはできるだけしない。

★★★ 実施率 56%



▶タイヤの空気圧は適正に保つ。

★★★ 実施率 68%



▶無駄な荷物を積んだまま運転しない。

★★★ 実施率 58%

▶急発進、急加速をしない。

★★★ 実施率 68%



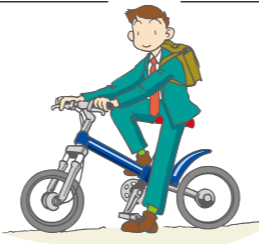
安全で環境にやさしいエコドライブをしましょう。

マイカー利用の一部を、バスや電車利用に換える事ができる

マイカーの利用のうち公共交通へ転換できるのは、約6.5%でした。

▶外出はできるだけ徒歩や自転車、公共交通機関で行く。

★★★ 実施率 56%



クルマの購入・買い替え予定

ハイブリッド自動車の保有率が約3%、電気自動車が約0.1%です。

▶低公害車に買い替える。3年以内に低公害車への買い替えを検討

★★★ 16%



クルマを買うときはできるだけ低公害車をおすすめします。



新築住宅やリフォームを検討中

▶高断熱化

★★★

自宅の高気密高断熱の施行やリフォームを行っていないのは61%でした。

断熱性の高い仕様にする、部屋の温度差や結露が解消され、快適で健康的な生活を送ることができます。



▶太陽光発電

★★★

太陽光パネルを知っているのは70%、「設置予定はないが関心がある」と回答したのは87%でした。

日射がある程度確保されているのであれば太陽光発電の設置をご検討ください。



▶高効率給湯器

★★★

省エネルギー型給湯器を知っているのは42%、「設置予定はないが関心がある」と回答したのは77%でした。

エネルギーの消費効率に優れた給湯器。二酸化炭素排出削減量やランニングコストの面で優れています。



引っ越しや家電の買い換えを検討中

▶省エネ家電への買い換え

★★★

パソコンを新しく購入する際に「環境への配慮を考慮する」と回答したのは3%でした。

エアコン・テレビ・冷蔵庫をはじめ家電機器を省エネ型のものに買い換えることにより、電気使用量を抑えることができます。



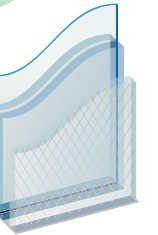
バリアフリーや耐震のためのリフォームを検討中

▶断熱改修(ペアガラス等)

★★★

自宅に断熱材を利用していない割合は35%でした。

施工費用は余分にかかりますが、この機会に窓ガラスをペアガラスにしたり、天井や壁に断熱材を詰めるなど、断熱改修を行ってはいかがでしょうか。



エアコンを利用することが多い

エアコンの保有台数は平均2.7台で、暖房器具として利用しているのは1日平均6時間でした。

▶エアコンをまめに清掃する。

★★★ モニター調査割合 54%

▶エアコン利用を抑制し扇風機を上手く使う。

★★★ モニター調査割合 10%

寒がりである(暑がりである)

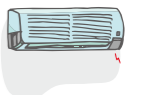
「可能な範囲で暖房の使用を控えたい」と回答したのは69%でした。

▶冷房は28度、暖房は20度を目安に設定する。

★★★ モニター調査割合 51%

▶カーテンやすだれなどを活用して冷暖房に役立てる。

★★★ モニター調査割合 46%

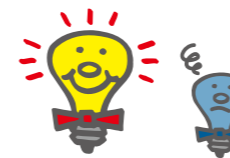


どちらかと言えば夜型である

▶省エネ照明に取り替える。

★★★

モニター調査割合 40%



基本的には自炊をしている

▶地産地消で旬の食べ物を食べる。

★★★

▶電気ポットや炊飯器の保温を止める。

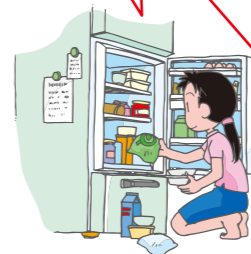
★★★ 実施率 54%

▶冷蔵庫は季節に合わせて温度を調整する。

★★★ 実施率 80%

▶冷蔵庫のドアの開閉を減らし、ものを詰め込み過ぎない。

★★★



★★★ ★★ ★

行動による削減効果を★の数であらわしています。★が多いほど削減効果が高い取組です。

注意1)ここに記載されている行動は、全ての市民の方に行って頂きたい行動です。注意2)ここに記載されている割合(%)は、特に指定がない限り、2009年に市内の1万世帯を対象に行ったアンケート結果に基づくものです。注意3)上記アンケートにご回答いただいた市民のうち、更なる詳細のアンケートにご協力いただいた「環境モニター」のデータを、モニター調査として記載しています。